

下山時間に注意しましょう！

秋の行楽シーズン、多くの登山者が山を訪れ賑わいますが、同時に山岳事故が多く発生する時期でもあります。

救助要請が多いケースの一つに、「下山に時間がかかり日が暮れて動けなくなってしまい救助を求める」というのがあります。

11月の日没時間は16:40頃です。林内の中に入ると15:00過ぎから日が陰り薄暗くなってきます。あたりが薄暗くなり気温が下がってくると、気持ちも急かされ思わぬ転倒や道迷いなども発生しやすくなります。

登山を行う際は余裕を持った計画で早めの下山を心がけましょう。また、万一のときに備え必ずヘッドライトを用意しましょう。



うす暗くなった森の中

月の話

秋の夜空は空気が澄んで月が綺麗です。

11月4日（土曜日）は満月で17:08に地平線から昇ってきます。

なにげなく眺めている月ですが、毎日約15分ずつ昇ってくる時刻が遅れるので、月の満ち欠けが観測できます。満月の時は、丁度太陽と月の間に地球があるので丸く光って見えるのです。驚きは、いつも同じ方向を地球に向けて回っていること。それでいつもうさぎさん模様が見えるわけです。夜空の月を観察してみたいかたがでしょうか。



イベントに出展しています！

いつもは山の中で活動している東京都レンジャーですが、時には地域のイベントなどに出席してブースを出します。

展示ブースでは、東京都レンジャーの業務、自然公園、季節の自然情報、レンジャーが撮影した自然の風景といった様々な内容について紹介しています。中でも大人気なのは、動物の剥製コーナー！本物の動物の剥製に触れて



学ぶ機会なんて、そうないですよね？

普段山に行かなくても、私たちのブースを見かけたらぜひ、気軽に立ち寄ってください。きっと楽しい自然の情報に出会えるはず。私たちも、みなさんにお会いできるのを楽しみにしています！！



やまみちものがたり

利用者の多い登山道は、踏み固めにより保水能力が低くなってしまいます。こうした道は雨水が一気に流れやすく、流れが集まる箇所では土が削られることもあります。



川ようになった登山道



窪みに水が溜まってしまった登山道

登山道が歩きにくくなれば、登山道外のより歩きやすい場所が新たに踏まれるかもしれません。何十人かが歩けば、そこに跡がつき、道の様になっていきます。こうした“複線化”が起こることで、悪路は更に荒れていってしまいます。これらの軽減対策として、登山道の逸脱の原因となる道の悪化の防止などがあります。例えば、排水をする溝（横断溝）を設置して雨水を登山道外へ流す、または土留めを設置して登山道が浸食するのを防ぐなどの方法もそうです。その他、段差の大きい階段のステップ作りなど、様々な方法があります。これらをレンジャーの作業やサポートレンジャーによるボランティア活動で行うこともあります。



サポートレンジャーとの登山道協働作業



横断溝のメンテナンスをするレンジャー



段差解消のステップ設置例（作業前）



段差解消のステップ設置例（作業後）

利用者の安全対策などで登山道や施設の整備が行われています。一方で極端に整備を進めると都市の公園のようになってしまう可能性があります。都市の公園と違い、自然公園ではこうした整備と山の道本来の良さを守ることのバランスが難しいといえます。

都心から近く、身近な山でありながら、多くの自然が楽しめる多摩地域の自然公園。その本当の価値や魅力をこれからも残していくため、登山道利用の在り方や、その楽しみ方も重要になってくるのではないのでしょうか。歩かれる際には、ぜひ「山らしい道」も大切であることにご理解いただき、必要な服装と足回りで散策を楽しんでいただければと思います。

東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551